

熊本県地震災害に係る第 1 回災害ボランティアバス (県内災害ボランティア支援団体等) の結果について

ひょうごボランティアプラザでは、4 月 1 9 日の第二次先遣隊による調査結果を踏まえ、様々な分野で被災地支援を進めるため、下記のとおり県災害ボランティア支援団体等による災害ボランティアバスを実施し、支援活動及び調査を行った。

- 1 活動日 平成 2 8 年 4 月 2 2 日(金)、2 3 日(土) 2 日間
行程 4 月 2 1 日(木)夜発～2 4 日(日)朝着(現地 1 泊、車中 2 泊)
- 2 活動場所 益城町内被災地及び益城町災害ボランティアセンター
- 3 参加者 2 0 名
災害救援ボランティア支援関係団体連絡会議 7 名(プラザ、県社協含む)
N P O ・ボランティア団体 6 名、防災士会 2 名
災害ボランティア熟練者 5 名(ひょうご若者災害ボランティア隊含む)
- 4 活動内容
関西広域連合から益城町に派遣したボランティア統括コーディネーター、被災地支援 N P O と連携し、ボランティアセンターや避難所の活動支援、被災地のニーズ把握
 - (1) 被災地の状況、ニーズ調査
(参加者)災害救援ボランティア支援関係団体連絡会議構成員(プラザを含む)、N P O ・ボランティア団体等 1 0 名
 - ① 4/22(金)
 - ア 町役場周辺地域(旧市街)被害状況・ニーズ調査
 - イ 総合体育館避難所(町内最大級)調査
避難所 N P O リーダー石井布紀子氏(さくらネット)より、状況と課題の聞き取り、収容人員調査(4/23)の協議
 - ウ 参加者による 1 日目被災地の課題、支援状況の総括ミーティング
(コーディネート:野崎氏、東末氏、浅見氏)
 - ② 4/23(土)

総合体育館避難所の面積、収容人員を調査し、データを避難所運営者(熊本 Y M C A)に提供。併せて避難者へのヒアリング

小アリーナ、武道場、通路等 9 区画延べ 2, 398 m²、避難人員 608 人
一人あたり居住面積 3. 94 m²
 - (2) 被災地支援ボランティア活動
(参加者)兵庫県防災士会、ひょうご若者災害ボランティア隊、災害ボランティア 8 名
 - ① 4/22(金) 救援物資仕分作業(平田地区選果場)
 - ② 4/23(土) 個人宅での散乱した家財道具の片付、廃棄物の選り分け・搬出
(町営住宅 60 代夫婦宅)

(3) ボランティアセンター運営支援 (参加者)兵庫県社協、滋賀県社協 2名

① 益城町ボランティアセンターの運営、ボランティアの受入状況

4/22(金) 394名(大雨により11時頃中止)

4/23(土) 500人超

受付を9時から8時40分に繰り上げ実施、9時20分ごろ終了

- ・ センター設営、運営は、全社協支援P、応援社協等が支援
- ・ 3～4割は県外、全国各地からボランティアが駆けつけた。

② 支援活動

ア 4/22(金) ボランティアセンターの運営状況調査、被災地・避難所の状況、ニーズ調査

イ 4/23(土)

(ア) ボランティアセンター駐車場対応と駐車場確保のため近隣駐車場等の調査

(イ) 応援社協との情報交換(大阪、和歌山、福岡、鹿児島、沖縄)

5 主な課題、今後の見込

- (1) 自宅の倒壊等により避難所生活が長期化する被災者も多く、早急な避難所の環境改善が必要である。
- (2) 個人宅の家財道具片付けなど被災者からのボランティアニーズが出てきており、今後ニーズの掘り起こしが進めば、さらにボランティア作業は増えるの見込まれる。

6 報告会の実施

(1) 日 時 平成28年4月29日(金) 18時30分～20時00分

(2) 場 所 ひょうごボランティアプラザ セミナー室

(3) 参加者 災害救援ボランティア支援関係団体連絡会議、NPO・ボランティア団体、県内市町社協、ひょうご若者災害ボランティア隊 等

[変更]

上記の報告会については、場所を変更し関係者の方にご案内します。